

指導案を作成することにより、保育のねらいが明確になり、幼児を中心にした保育の展開を工夫することができます。

環境構成や保育者の援助を具体的に記入します。

遊具・用具の配置・数、場所や時間に関することなどを記入します。図示してもいいでしょう。

例

保育プラン

平成〇年〇月〇日()
つき組(△歳児)
男児〇名 女児〇名 計〇名
保育者:〇〇〇〇
〇〇〇〇
場所 遊戯室

この時期の幼児に何が育ちつつあるのか、行動、遊び、つぶやきなどから読み取ります。

1. 今日の活動 ガラガラドンの鬼ごっこをしよう

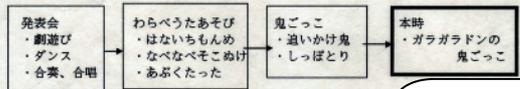
2. 子どもの姿と保育者の願い

役割の交替や簡単なルールのある「あぶくたつた」「しっぽとり」「鬼ごっこ」などの集団遊びを友だちと楽しめるようになってきた。特に鬼ごっこは大好きで、みんなで追いかけたり追われたりすることが楽しくて仕方ないようである。クラスには、すぐに飽きてしまふ遊びから離れてしまふがちな子どもも見られるが、「鬼ごっこしよう」と誘い合い繰り返して遊んでいる。また、春から続いている家族ごっこや発表会での劇遊びを通して、何かになる楽しさを味わっているようだ。

最近になって、子どもたちの好きな絵本である『3びきのやぎのがらがらどん』の役になりきった鬼ごっこを始めた。楽しい遊びではあるが、役になりきるあまりテンションが高くなるとルールを忘れて思い通りにならないとパンチやキックをしたりしがちなK児、いつもの追いかけ鬼では役割交替ができるが、ガラガラドンの鬼ごっこになると捕まると泣き出してしまふA児の姿が気になっている。そこで、みんなでルールを話し合い、一人一人が楽しめる「ガラガラドンの鬼ごっこ」を考えたい。

本時では、役になりきった表現や言葉の掛け合いを楽しむとともに、みんなで決めたルールを守りながら友達と遊ぶ楽しさを味わってほしい。

3. 遊びの経過



4. 保育のねらい

- ・役になりきりながら、ルールを守って友達と楽しく遊ぶ。
- ・役になりきって、友達と楽しく遊ぶ。(K児)
- ・最後まで友達と一緒に鬼ごっこを楽しむ。(A児)

5. 評価

- ・ルールを守りながら友達と楽しく遊べたか。
- ・表現を楽しみながら、ゲームの流れに沿って友達と楽しく遊べたか。(K児)
- ・ガラガラドンの鬼ごっこに喜んで参加しようとしたか。(A児)

「ねらい」が達成できたかどうかを見取る視点を明確に設定します。

個別の支援が必要な幼児に対する「ねらい」、「評価」を示します。

6. 保育の流れ

時間	予想される子どもの姿	環境構成	保育者の援助
9:30	<ul style="list-style-type: none"> ・遊戯室で体操をする。 ・トイレへ行く。 ・遊戯室でお茶を飲む。 ・手遊びをする。 ・エプロンシアター『3匹のやぎのガラガラドン』を見る。 ◎ガラガラドンの鬼ごっこをする。 ・役を決める。(じゃんけん) ・お面をつける。 ・掛け合いを楽しみながら役になりきって遊ぶ。(ルール) 	<ul style="list-style-type: none"> ・エプロンシアター ・ガラガラドンのスタートラインを作っておく。 ・お面 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレが終わったらスタートに座るように声をかける。 ・一日の流れをホワイトボードを使って話す。 ・K児・A児:そばにつき落ち着けるように配慮する。 ・ガラガラドンの世界がイメージできるように、「怖いロールがある。」などの声掛けをする。 ・ルールの確認をする。 ・役になりきっている子どもには、「すごい〜」などの声を掛ける。 ・K児:テンションが高くなりすぎそうなのは、保育者がそばにつき、声を掛けて気持ちを落ち着かせる。 ・A児:鬼に捕まり機嫌を損ねた時は、本児の気持ちを受け止めながら保育者と一緒に関心になるなどして、A児と楽しさを共有する。 ・保育者も一緒になって楽しむ遊びが盛り上がるようにする。 ・次回に期待が持てるような声かけをしながら片付ける。 ・休息を兼ね友だちにやさしくマッサージできるように声をかけたり、一緒にしたりする。 ・またしようという気持ちを受け止めながら、部屋に戻る。
10:30	<ul style="list-style-type: none"> 1.ガラガラドンが、「かたことかたこと」と言う。 2.トルロが、「誰だ、橋をかたことさせるのは」と言う。 3.ガラガラドンが「ガラガラドンだ。橋を渡るぞ、オー」と言って逃げ出す。 4.トルロが追いかける。 5.捕まったガラガラドンが次のトルロになり、お面を交換する。 ・片付けをする。 ・二人組になって「うどんこねこね」をする。 ・部屋に戻る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラガラドンの逃げ場所 ・トルロのうち 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を要する幼児への、具体的な手立てを考えておきましょう。 ・子どもの姿には、環境にどのようにかわるだろうか予想し、経験させたいことを記入します。

保育の振り返りをしましょう。

観察記録のとり方と活用

事実をていねいに記録する。【素記録】

- ・時間の流れに沿って、幼児の言動とそれにかかわりをもった保育者の言動を記述する。

時間	幼児の言動	保育者の援助(言動)



保育記録をもとに、幼児の言動の読み取りと保育の振り返りを行います。外部講師から、指導案のねらい・評価と照らし合わせたまとめにするよう助言をいただきました。

記録は、担任以外がとると、幼児の言動をしっかりと書きこむことができます。



その他にも、エピソード場面を取り上げたり、特定の幼児に視点をあてたりする方法もあります。

貴重な実践を振り返り積み重ねることで、保育の見直しへつなげましょう。